

佐藤典司先生をお送りするにあたって

経営学部長 小久保 みどり

佐藤典司先生は、2021年3月末をもって退職されることになりました。佐藤先生は、1998年のご着任以来23年間にわたって、経営学部、経営学研究科、および立命館大学の発展に大きく寄与されました。このご功績に対して深甚の謝意を表しつつ、この『立命館経営学』をご退職記念号として謹呈させていただきます。

佐藤先生は、1980年に早稲田大学政治経済学部経済学科をご卒業され、(株)電通に入社されました。電通では新聞雑誌局、マーケティング局、営業局などでご活躍なさいました。そして、1998年の経営学部のBKC移転とともに立命館大学経営学部環境・デザイン・インスティテュート教授として着任されました。爾来、教育面では、広告論、デザイン・マネジメント論などを担当され、研究面では、デザインや情報の価値を中心とする価値創造におけるマネジメントについてのご研究を長年続けてこられました。また、近年ではデザインや情報の価値の検証とそれに基づいて具体的な企業や自治体の経営をどのように進めていくかについての方法論を探るご研究を進めていらっしゃいます。

大学運営面では、経営学部教学担当副学部長（2003年度）、経営学研究科主事（2006年度）、経営学部大学院担当副学部長（2009年度）、そして2009年から2011年まで大学協議員、2010年から2013年まで文理インス教学委員長、2016年から2017年まで教学部副部長、さらに2017年から2019年には経営学部長・理事・評議員をつとめられ、経営学部および立命館大学の発展に大きく寄与されました。

佐藤先生は上記のように教育、研究、行政面でさまざまなご貢献をされてこられました。とりわけ、電通での実務経験も十分に踏まえられて、デザイン・マネジメントという分野の教育および研究を学部根付かせることにご尽力され、大きな成果をあげてこられました。佐藤先生の専門演習は毎年大変な人気で、入ることがたいへんむずかしいことで有名です。その他の講義も含めて、懇切丁寧で細やかな指導にあたられ、有為な人材を数多く育て、社会の様々な方面へ送り出されてきました。また、学部長としてその暖かくおらかなお人柄で、学部をまとめてくださいました。改めて感謝申し上げます。

最後になりましたが、佐藤先生におかれましては、いつまでもご健康でご活躍されますよう祈念申し上げますとともに、今後ますますのご研究の発展を願ってやみません。